

	方式	説明	対象生徒	指導者	活動場所	実施日	例	○メリット・●デメリット（課題）
①	新設	学校部活動にない種目の部活動を新設	全校	地域人材	スポセン	休日+平日も可?	・陸上 ・アルティメット	○今までにない種目ができる ○学校との調整が少ない ●受け入れ団体、指導人材、活動場所の確保 ●スタート時期の検討。年度途中からの開始は困難
②	拠点校	学校部活動のうち、活動人数が少ない種目等で、拠点校を指定し、1つの部活として活動	全校 ※関係校は当該種目の部活動がないことが条件	教員か 地域人材	学校か 地域	平日+休日	・ソフトボール ・バドミントン ・バレー ・剣道	○受け皿や指導者は確保しやすい ○自校にない種目に参加できる ○●教員の負担軽減（関係校は減るが拠点校は増えることもあり得る） ●活動内容等の変更による理解（特に拠点校）
③	地域移行	学校部活動を地域団体への運営に変更	該当校か 全校 ※関係校は当該種目の部活動がないことが条件	教員か 地域人材	学校か 地域	休日のみ?	・茶道、華道 ・ソフトテニス	○教員の負担軽減 ●休日のみなら、平日の学校部活動との調整 ●実施できる部活動が限定される可能性あり ●受け入れ団体、指導人材の確保 ●中体連登録には指導者の指導者資格が必要

※学校や生徒・保護者の理解や、責任主体の明確化については共通の課題